



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

しまばらのみまげへつ

Q イオン周辺の再開発について。
A イオン島原店の存続は中心市街地を空洞化させたくないとの思いがあり、再開発を計画されたことに感謝している。また、国道交差点を一か所に集約し、建て替えがスムーズに行えるよう道路を完成させたい。

Q 島原図書館駐車場について、身体の不自由な方への対応と、家族用の駐車スペースはできないのか？
A 現在21台分を整備中。身体の不自由な方には段差がない山側から案内するようにしている。広めの家族スペースについては、どのような駐車枠にするのか検討したい。

Q 島原城築城400周年の節目、お城周辺の整備をしっかりと進めていかなければならないと考えるが？
A 島原城築城400周年記念事業の一環で無電柱化と歩道整備を計画している。安全・安心な歩行空間を整備していきたい。

Q 九州オルレ島原コースの集客と今後のイベントは？コース上にリボンが見えないところもあり、増やしてほしい。コース途中で体調を崩し

た場合の安全管理は？

A オープン当日、200人ほどが歩かれている。今後は、交流人口増加のための複合的なイベントを年2回、定期的に開催予定。リボンについては十分対応できる。安全管理は、コース内にポイントを決め番号を設けており消防署に伝えてもらえば対応できるようにしている。

安全・安心なまちづくり

Q 島原鉄道跡地の今後の方向性は？土手が崩れ、草木の繁茂で危険箇所の安全対策を。
A 島原半島三市と県が一体となった協議会が立ち上げられると聞くので、検討していきたい。

Q 避難所への分かりやすい標識と通っている学校にどんな災害が潜んでいるのか、周知が大切。子どもの防災学習についてどのように行われているのか？防災マップを活用した学習と防災面での学校と地域のつながりの強化を。
A 危険箇所や避難経路について指導しているが、防災マップ活用については再度、学校へ指示する。地域とのつながりは、各地区の避難訓練を通じて強くしていきたい。

- 【その他の質問項目】
- ◇お城周辺の桜について
- ◇防火水槽について
- ◇新型コロナウイルスについて



平成会
はまさき きよし
濱崎 清志 議員

本市の世帯動向

Q ①世帯業態。
②人口と世帯の推移。
③世帯の構造。

Q ④65歳以上の家族形態は。

A ①雇用者1万8245、自営業者3054。
②18年1月末の人口は5万1201人、世帯は1万8448。令和2年1月末の人口は4万4994人、世帯は1万9840。
③単独世帯は4787、2人世帯は5232、3人世帯は3015、4人世帯は2013、5人世帯は1011、6人以上世帯は912。
④単独世帯は2298、夫婦のみ世帯は2347、その他の世帯は4556。

Q 空き家対策など、データに基づいた施策や議論が必要では。
A 各種施策をデータに基づき練っていく必要があると考える。

市勢振興計画

Q 平成24年度以降、市内総生産額が1300億円を下回っている要因は。
A 製造業、建設業等の事務所数の減、近年の原材料や燃料費等の高騰が影響。

Q 県内での本市の所得ランキングと所得金額は。
A 納税義務者一人当たりの課税対象所得額は255万8千円、県内市町の中で11番目。

Q 収入500万円未満の世帯が約75%で市民生活の厳しさが数字に出ている。各種イベントを計画する前に生活を支える事業を検討すべき。
A 高齢者への対策、交流人口増への対策など、バランス感覚を持ち取り組む。

Q 3世代ファミリー応援事業の拡充としては。
A 今後、検討したい。

地域おこし協力隊・企業人

Q 地域おこし企業人の活用を。
A 地方創生人材育成制度を活用し、民間の方を地方創生に生かそうという方針で動いている。

Q 集落支援員の制度の活用は。
A 非常にありがたい制度と認識。